



はたのっこ

令和7年12月号
しぶたに学園
池田市立秦野小学校



さまざまな行事が続いた2学期、学習発表会も運動会も、多くの人の前で練習の成果を発揮し、たくさんの声援や拍手をいただけたことは、子どもたちが成長する、大きな力となりました。

また、創立150周年を記念行事として、地域やPTAのみなさまの企画で、「避難所一泊体験」や、「150周年記念祭」などを開催していただきました。子どもたちは、貴重な経験とともに、素敵な思い出を数多く作ることができました。ありがとうございました。



国語

全国学力・学習状況調査の結果について

算数

	区分	本校(%)	全国(%)	本校-全国	本校-全国 (昨年度)	本校の傾向 △:得意 ▼:苦手
学習指導要領の領域	(1) 言葉の特徴や使い方に關する事項	70.2	76.9	-6.7	-7.1	▼▼▼
	(2) 情報の扱い方に關する事項	65.4	63.1	2.3	-1.7	△
	(3) 我が国の言語文化に關する事項	80.8	81.2	-0.4	-3.8	▼
思考・判断・表現の能力	A 話すこと・聞くこと	71.5	65.0	6.5	0.4	△△△
	B 書くこと	70.2	69.5	0.7	-1.6	△
	C 読むこと	55.3	57.5	-2.2	-6.3	▼
評価の観点	知識・技能	71.6	74.5	-2.9	-5.8	▼▼
	思考・判断・表現	64.6	63.8	0.8	-3.4	△
	主体的に学習に取り組む態度					
問題形式	選択式	66.0	64.7	1.3	-2.4	△
	短答式	74.4	78.5	-4.1	-14.1	▼▼
	記述式	57.7	58.8	-1.1	-4.9	▼

平均正答率: 本校67.0% 全国66.8%

	区分	本校(%)	全国(%)	本校-全国	本校-全国 (昨年度)	本校の傾向 △:得意 ▼:苦手
学習指導要領の領域	A 数と計算	62.4	62.3	0.1	-0.7	△
	B 図形	55.3	56.2	-0.9	-3.9	▼
	C 測定	52.9	54.8	-1.9		▼
	C 変化と関係	57.4	57.5	-0.1	-3.6	▼
	D データの活用	64.0	62.6	1.4	-4.7	△
評価の観点	知識・技能	64.5	65.5	-1.0	-2.0	▼
	思考・判断・表現	48.5	48.3	0.2	-4.2	△
	主体的に学習に取り組む態度					
問題形式	選択式	67.3	67.2	0.1	-0.4	△
	短答式	62.8	64.0	-1.2	-3.1	▼
	記述式	34.9	34.9	0	-5.9	

本校 58.0% 全国 58.0%

理科

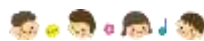
	区分	本校(%)	全国(%)	本校-全国	本校-全国 (昨年度)	本校の傾向 △:得意 ▼:苦手
学習指導要領の領域	A 数と計算	62.4	62.3	0.1	-0.7	△
	B 図形	55.3	56.2	-0.9	-3.9	▼
	C 測定	52.9	54.8	-1.9		▼
	C 変化と関係	57.4	57.5	-0.1	-3.6	▼
	D データの活用	64.0	62.6	1.4	-4.7	△
評価の観点	知識・技能	64.5	65.5	-1.0	-2.0	▼
	思考・判断・表現	48.5	48.3	0.2	-4.2	△
	主体的に学習に取り組む態度					
問題形式	選択式	67.3	67.2	0.1	-0.4	△
	短答式	62.8	64.0	-1.2	-3.1	▼
	記述式	34.9	34.9	0	-5.9	

平均正答率: 本校 53.0% 全国 57.1%

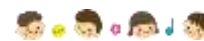
4月に実施された全国学力・学習状況調査(対象:6年生)について、本校の平均正答率は、国語は全国平均を上回り、算数も全国平均と同じ結果となりました。しかし、理科については、全国平均を下回る結果となりました。以下、概要をお伝えするとともに、結果については、教育指導の充実や授業改善に努めてまいります。



国語	知識及び技能のうち、言葉の特徴や使い方に関する事項では、全国平均よりも約7%下回っていた。特に正しい漢字を書く問題での正答率が低い。日ごろから自分の考えを書く・学習のふりかえりを書くなど、漢字で文章を書く機会を設け、低学年から習った漢字を正しい意味で使うことが求められる。こうした力は、現在取り組んでいる朝学習の視写や単元のゴールの言語活動で意識してつけることができると考える。 話すこと・聞くことでは、本校の取組みが少しずつ子どもたちの力となっていることが分かった。交流の話し合いやインタビューの様子から、発言の意図や根拠がどこにあるか、伝え方をどのように工夫しているか、情報を整理すると何が分かるかなどが問われる問題が出題された。どれも全国平均を上回り、学級会や授業の交流の場で自然と児童が実践しているものが国語の話す・聞く力として身についてきているといえる。 読むことに関する事項では、昨年度からの授業改善を通して「構造と内容の把握」「精査・解釈」「考えの形成」「表現」の順に単元を構成し、学年ごとのつきたい力に合わせて授業づくりを行っていくことで、系統的に国語における学力の積み上げを意識してきた。しかし、短い時間の中でおおまかに文章の内容を捉える力はまだまだ身につける必要性を感じている。また、言語活動において、文章の構造と内容を捉え、精査・解釈することを通して理解したことに基づいて、自分の既存の知識や様々な体験と結び付けて感想をもったり考えをまとめたりしていく力を意識して授業づくりを行った。それにより、「書く」ことに少しずつ慣れ、無解答が減ったことは成果である。これからは、自分の考えを書くために、自分の考えをいかに分かりやすく、速く整理できるかを考えて授業づくりを行っていきたい。
算数	基礎的な計算能力に関しては、結果から子どもたちに身につけているといえる。しかし、その計算方法になるわけや、自分の解法を言葉にすることに関しては課題が見られた。国語では、自分の考えを言葉にすることを意識して取り組んでいるが、そこに算数的な見方・考え方をはたらかせて記述することに課題を感じる。日々の授業の中で、算数で使う用語を活用し、自分の考えを言葉にする活動を意識して取り入れることが必要であると考えられる。単元の終わりに行うテストだけでなく、自分の考えを言葉にして記述するパフォーマンス課題を設定することで、算数的な見方・考え方をはたらかせて考えを文章化することに慣れさせたい。
理科	本校では、自然の事物や現象、観察等で得た情報を分析して解釈し、自分の考えを持つ問題の正答率が、全国の正答率に比べて低かった。そのため、授業の中で引き続き、実験したり観察したりして得た結果から気付いたことなどをもとに、新たに問題を見出していくことが必要である。また、本校は知識・技能の問題で全国の正答率を下回っていた。理科の学習用語や実験器具の使い方など、実験や観察の中で用いられる知識を、自分の考えを表現する場でも使っていくことで、基礎的な知識・技能を定着させる必要がある。今後は、授業の中で確かな知識をつけるために、授業者自身が意識して授業を行いたい。加えて、記述式の問題に対する、無回答率の高さが顕著に表れていた。国語・算数では、少しずつ改善がみられているため、理科の授業でも、実験をもとに考察したこと、分かったことをもとに結論を導き出すことを、自分の言葉で行う活動を意識的に取り入れていく必要がある。 また、児童質問紙では、理科の学習が日常の生活に役立つかという質問の肯定的な回答が低かった。このことから、教科書に出てくる事象がどのように日常生活につながっているのか、具体的な場面を思い描きながら学習におきあえていないのではないかと考えられる。そのため、授業においても生活経験と結びつける工夫を継続的にしていく必要があると考える。
質問紙調査	本校の児童は、「自分にいいところがある」と思っている児童が多く、「先生は自分のよいところをほめてくれる」や「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」の数値も高いことから、普段からの教師と児童との関係を作りや声かけが児童の自己肯定感に繋がっていることが考えられる。また、研究の中心としている特別活動の中の縦割りや委員会など他学年と関わる機会の中で誰かの役に立っていると感じていると考えられる。 研究目標にもつながっている「学校に行くのは楽しい」と肯定的に思っている児童は多いが強肯定は全体の半数程度で全国平均と変わらないことから、ここは突出したいところであった。また、研究の中心としている学級活動の問いでは「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているか」の問いに強肯定で答えた児童は全国平均より上回ったが、児童数の半分以上の数値であったり、「学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいるか」の問いに強肯定で答えた児童は32.0%で全国平均より下回る結果であったりした。教師が意識的に取り組ませてきたことと児童の実感と差ができていることは深く受け止めていかなければならない。児童の行動や発言を価値づけ、教師がより意識して言葉での評価を児童に伝えていくことが必要ではある。教師や他の児童からの評価が自信となり、「人の役に立つ人間になりたい」と思える児童を増やすのではないかな。 本校の児童は学習や学校生活の中で、課題を解決していく力が弱い。学習面では解答を文章で書く問題や言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題は最後まで解く努力ができなかったり、分からないことやよくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫したりすることが苦手な児童が多い。基礎学力の定着を図ると共に「考える力」を育て、やればできるという自信をつけさせることが必要だと考える。 学習の機会については家庭で学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている児童が全国平均より少なく、自宅学習の時間が1時間を下回る児童も多い。学校での学習で児童の学力を伸ばせるようにしなければならない。 自分の気持ちや考えを言葉や文章にすることが苦手ということをふまえながら、日々の教育活動を充実させていく必要がある。これは友達関係作りにもつながっていくと思う。PC・タブレットなどの ICT 機器を活用することについて友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる児童が多いので、ICT を積極的に活用していきたい。 「相手の気持ちを想像する」「相手の気持ちは自分とは違うと知る」「さまざまな気持ちを知る」どの教科や時間においても話し合い、互いの意見のよさに気づき、よさを生かして課題を解決していく経験を続け、困っている人が助けようとする共感力を養っていききたい。それがいじめの指導にも繋がる。いじめについてはどのような理由があっても絶対にしてはいけなく全員が思えるように日々の指導を継続していかなければならない。



12月の行事予定



		主な予定	キッズ
1	月	2年校外学習 HHA えさやり体験(～12/5まで)	
2	火	芸術鑑賞会10:00(低学年) 11:20(高学年) SC 来校日	
3	水	A日課 2年校区探検 クラブ(クラブ写真) 特別支援教育展(～12/9まで)	
4	木	2年校区探検	
5	金	4年小小交流 2年校区探検予備日	
6	土		
7	日		
8	月	ダンスクラブ発表会① 学校納入金振込日	
9	火	ダンスクラブ発表会② SC 来校日	
10	水	A日課 児童集会 公開研前日準備	
11	木	はたのっこタイム 公開研(午後)1-3・3-4以外13:50下校/1-3・3-4 14:50下校	
12	金		
13	土	PTA 実行委員会9:00 学校協議会11:00 子ども会お楽しみ会(午前)体育館	
14	日		
15	月	個人懇談① 13:40下校 6年 GTEC(～12/19まで)	
16	火	個人懇談② 13:40下校 SC 来校日	
17	水	A日課 個人懇談③ 13:30下校	
18	木	個人懇談④ 13:40下校	
19	金	個人懇談⑤ 13:40下校 学校納入金振替日	
20	土	西畑子ども会(午前)体育館	
21	日		
22	月		
23	火	大掃除 給食最終日 13:40下校 SC 来校日	
24	水	終業式 11:40下校	
25	木	冬休み～1月7日	
26	金		
27	土		
28	日		
29	月	学校閉庁日～1月3日	
30	火		
31	水		

6年生で実施する
GTEC(ジューテック)
とは、英語の4技
能(話す・聞く・書
く・読む)を測定す
るテストです。後
日、個人票を返却
します。



<1月の主な予定>

8日(木)始業式・集団下校 12:00頃下校

9日(金)12:40下校

13日(火)給食開始 13:40下校

14日(水)児童集会 クラブ

15日(木)2年小小交流

16日(金)地震避難訓練

19日(月)5年出前授業(救命救急) 6年中学校体験入学

20日(火)2年 OSP

21日(水)はたのっこタイム 委員会

27日(火)2年出前授業(いのちの授業) 1年 OSP

※マラソン記録会については2月に学年毎に実施予定です。詳しい日程については、後日お知らせします。